

# 慶應義塾大学大学院



Keio University  
1858  
CALAMVS  
GLADIO  
FORTIOR



# 理工学研究科修士課程 新入生ガイダンス

# 学生から見た専攻とは

## 専攻

- ・学籍が発生する母体  
「**理工学研究科〇〇専攻修士課程入学, 修了**」
- ・カリキュラムが存在する母体で, 修了判定も専攻が正式に認定

学問の融合を目的にした3つの専攻

- ・ **基礎理工学専攻**
- ・ **総合デザイン工学専攻**
- ・ **開放環境科学専攻**

# 学生から見た専修とは

## 専修

- ・学生は専修所属ではないが、**指導教員を介して専修とつながっている**
- ・修士論文合否判定を実質的に行う組織で、学生は専修の運用方針に従わなくてはならない
- ・**修士修了時の指導教員が属する専修**の用意する**主専門修了要件**を満たさなくては修士課程を修了できない
- ・主専門以外に用意された(他の専修を含む)単位取得要件を満たすと、副専門修了を判定する

**基礎** 「数理科学専修」「物理学専修」「分子化学専修」「物理情報専修」  
「生物化学専修」「生命システム情報専修」

**総合** 「マルチディシプリナリ・デザイン科学専修」「システム統合工学専修」  
「電気電子工学専修」「マテリアルデザイン科学専修」

**開放** 「空間・環境デザイン工学専修」「環境エネルギー科学専修」  
「応用力学・計算力学専修」「情報工学専修」  
「オープンシステムマネジメント専修」

# 修士課程の修了要件

以下、履修案内p29より抜粋

“大学院に2年以上在学し、課題研究科目4単位と特別研究第1科目の6単位、指導教員が所属する専修の主専門8単位を含め30単位以上を取得し、かつ、研究に必要な指導を受け、修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格すること”

※副専門修了は修士課程修了のための必須要件ではありません。

※以下の学生は主専門要件の適用を外します。

- ・留学生入試を受験し、入学した学生
- ・リーディング大学院プログラム(オールラウンド型)デュアル・ディグリー学生

# 履修科目の構造

## 必修科目(指導教員所属専修が合否判定)

課題研究 4単位  
特別研究第1 6単位

課題研究を含む16単位取得で  
修士論文着手認定

## 主専門修了要件

指導教員所属専修の指定科目群から8単位以上

合計30単位以上  
取得が修了要件

## 副専門修了要件(選択)

専修の指定科目群から4、6または8単位以上

履修科目は、  
指導教員の指導・  
許可を受けること

## 選択科目

総合科目を含むあらゆる開講科目が対象

- ・総合科目は6単位までを修了単位に含められる
- ・先取り科目は8単位を上限として修了単位に含められる
- ・指導教員が認めると、他研究科、学部学科専門科目を総合科目と合わせて6単位まで修了条件に加えられる

# 主専門とは？そしてその修了要件は？

大学院教育課程の高度な専門知識の習得を目的として専修で厳選された科目群

- ◆ 指導教員所属専修が指示する履修方法に則って、主専門科目群から8単位以上を取得すること。
- ◆ 学部4年時に先取履修した科目を、指導教員の許可により主専門単位に含めることも可能。
- ◆ 必修、選択、分野の指定がある専修もあるので、履修案内 p40～42をよく確認すること。
- ◆ 複数の主専門を設置している専修においては、事前にどの主専門を選択するか確認の上、学事で登録をしています。自分の主専門が不明な場合は、指導教員に確認をしてください。

# 副専門とは？そしてその修了要件は？

修士論文研究と関連性の高い「主専門」分野に加え、さらに学識の範囲を広げ異分野の科目を一定数履修することを奨励するために、専修が設定した科目群

- ◆ 各専修の副専門修了指定条件を満たした場合、**その専修の副専門修了**となる。
- ◆ 修了要件は専修により異なるが、**3科目6単位が一般的。**  
(履修案内p43～44参照)
- ◆ 他専攻の専修の副専門を選択することも可能。
- ◆ 副専門修了の単位取得状況は**修士課程修了時の学期末に判定し、修士課程修了時に副専門修了認定**となる。

# 副専門に関する注意事項

- ◆ 学部4年次に先取りした科目は、副専門修了に含めることはできません。
- ◆ 副専門を複数置いてある専修において、副専門指定科目群間で共通している科目がある場合、修了要件へのダブルカウントはできません。
- ◆ 主／副専門を複数置いてある専修や他専修の主専門科目と共通する科目がある専修において、主専門修了単位に含めた科目を副専門の修了要件へも含めることは認められません。
- ◆ 学部設置科目を副専門科目に指定している専修において、学部時に修得済みの科目を副専門の修了要件へ含めることは認められません。



# 履修申告の際の注意事項

- ◆ 履修申告欄はA欄・B欄によって構成されています。理工学研究科の時間割表に掲載されている科目は、登録番号を登録するだけで自動的に分野が登録されます。(A欄申告)
- ◆ ただし、一つの科目に対して複数の分野を選択できる場合や、他研究科の科目等を履修する場合などには、B欄を選択して希望する分野を登録しなければなりません。
- ◆ このような科目を履修する場合には、履修申告時にB欄分野番号(2桁)を使って、どの分野の単位として履修申告するか選択をする必要があります。履修案内p45を参照

# B欄分野番号：使用例

超精密加工計測, MEMS特論-デザインおよびマイクロ  
ファブリケーション-, 材料強度学, 生体材料工学, 宇宙  
探査工学, バイオミメティックマイクロナノ工学

上記の科目は、「機械科学」の副専門科目であると同時に、「デザイン科学」の副専門科目でもあります。

これらの科目を履修登録する際、どちらの副専門科目として登録したいのかをB欄で選択してください。

- 「機械科学」の副専門科目として履修する場合 → **B欄 08**
- 「デザイン科学」の副専門科目として履修する場合 → **B欄 09**

# B欄分野番号：使用例（分子化学）

## 計算物理学特論，原子分子分光學

上記の科目は、「分子化学」の主専門科目であると同時に、「物理学」の副専門科目でもあります。

これらの科目を履修登録する際、主専門科目として登録したいのか、副専門科目として登録したいのかを選択してください。

- 「分子化学」の主専門科目として履修する場合 → **A欄**
- 「物理学」の副専門科目として履修する場合 → **B欄51**

# カリキュラムの確認方法

- 2019年度理工学研究科履修案内

- 修士課程カリキュラムのウェブサイト

[http://www.gakuji.keio.ac.jp/yagami/new\\_curriculum.html](http://www.gakuji.keio.ac.jp/yagami/new_curriculum.html)

理工学部・理工学研究科TOPページ → 在学生 → 授業・履修・試験 → [理工学研究科] 修士課程カリキュラム

- 学生課学事担当・大学院窓口(25棟1F)

# カリキュラムのWebサイトへの行き方

理工学部・理工学研究科TOPページ  
→在学生 →授業・履修・試験  
「[理工学研究科] 修士課程カリキュラム」

 慶應義塾大学 理工学部・理工学研究科  
Faculty of Science and Technology, Keio University

検索 アクセス Language

理工学部・理工学研究科  
Science and Technology

学科・専攻  
Departments

教育・研究  
Education & Research

教員プロフィール  
Staff Profile

入学案内  
Admissions

**在学生** 企業・研究者の方  
教職員 卒業生

f i YouTube

 慶應義塾  
Keio University

ホーム 在学生の方

在学生の方

ニュース

2018/03/09 教育 2017年度秋学期 学業成績表について (理工学研究科) 詳しく見る	2018/03/09 教育 2017年度秋学期 学業成績表のWeb閲覧について (理工学部3・4年生) 詳しく見る	2018/02/08 国際 2018年秋出発 交換研修の出発期間について 詳しく見る
---	--	---

ニュース一覧を見る

授業・履修・試験 > 学生生活・奨学金 >  
就職・進路支援 > 実験 >



このサイトが  
参照可能

## 理工学研究科 修士課程カリキュラムについて

理工学研究科では、最先端の科学を現実の社会で展開するために分野融合を取り込んだ新しい教育プログラムをもって高度人材育成を行うことを目的として、2016年度から専攻内の教育研究分野(以下専修という)でデザインした「**主専門-副専門制**」を柱とする**新カリキュラム**に移行しています。**新カリキュラムは、2016年4月以降の入学から適用されます。**

※2015年度以前の入学者は旧カリキュラムが適用されますのでご注意ください。

### 主専門とは

大学院教育課程にふさわしい高度な専門知識の習得を目的として用意された科目群です。**新カリキュラムでは、指導教員所属専修が指示する履修方法に則って、主専門科目群から8単位以上を取得することが修士課程修了要件に加われます。**主専門科目は科目担当者の判断により学部4年次での先取り履修を可能とし、修士課程において指導教員の許可により修了単位に含めることができます。

### 副専門とは

修士論文研究と関連性の高い「主専門」分野に加えて、さらに学識の範囲を広げるために、異分野の学部教育を受けてきた学生でも履修できるように考慮された科目群です。前提となる科目が不可欠である場合、一定数の学部専門科目を利用し、導入的な専門知識は大学院進学後の学部科目履修で得られるようになっています。副専門修了要件は専修により異なりますが、3科目6単位が一般的です。詳細は以下の各専修カリキュラムにて確認してください。**副専門は、主専門とは異なる分野であるため、学部4年次に先取り履修をした科目を副専門修了要件に含めることはできません。**副専門修了の単位取得状況は、修士課程修了時の学期末に判定し、修士課程修了時に副専門修了認定となります。



# 経営管理研究科（KBS）設置科目の 履修に関するガイダンス

- 日時：2019年4月2日（火）  
15：30～
- 会場：14棟201番教室